



ごあいさつ

この度は 4CH デジタルビデオレコーダー NS-2007Rをお買い上げいただき、ありがとうございます。
電気製品は正しく取り扱うことでより安全にご使用いただけます。間違った使い方は、火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐためにもこの取扱説明書をよくお読みの上、注意事項を必ず守り安全に正しくお使いください。お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管して、必要な時にお読みください。

本説明書をお読みになる前に

- ・本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りいたします。
- ・機器の故障や誤作動、あるいは万が一発生した損害及び、映像の損失などの逸失利益に関し、弊社及び販売店は一切その責任を負いかねますので予めご了承願います。
- ・本製品は映像を録画する装置であり、防犯機器ではありません。

設置に関する注意事項

本製品は、記録媒体にハードディスクを使用しております。一般的に、ハードディスクは静電気や電磁ノイズの影響を受け易くなっておりますので、設置にあたって本取扱説明書5ページの1-2、設置場所の確認をお願い致します。

ハードディスクに関する留意点

本製品は、記録媒体に250GBハードディスクを使用しています。
一般的にハードディスクは、振動、衝撃などの物理的耐久性、電源の入切などによる電氣的耐久性が低く、永久的に使用可能な媒体ではありません。(消耗品に分類されます) 作動時間が2万時間を越えた頃より書き込みエラーが発生しやすくなり、3万時間を越えるとヘッドやモーターの劣化などにより寿命に至ります。大切な録画データを破損、損失させない為にも、機器周辺温度を25℃以下に保ち、18,000時間を目安にハードディスクを交換することをお奨め致します。

(時間は目安であり、寿命を保証するものではありません)

ハードディスクの交換については、本取扱説明書の6ページを参考にして交換されるか、別途販売店にご相談願います。尚、交換費用は有償となりますので予めご了承願います。

※推奨HDD：SEAGATE ST3250620A(16MB/P-ATA) HITACHI HDP725025GLAT80

目次

■ ごあいさつ	1
■ 目次	2
■ 安全にお使いいただくために	3-4
■ 1 導入	5
1-1：必ずお読みください！	5
1-2：設置場所の確認	5
1-3：特徴	5
1-4：箱の中身を確認しましょう	6
1-5：ハードディスクの挿入	6
■ 2 接続	7
2-1：接続図	7
2-2：接続方法	7
2-3：アラームの接続方法	7
■ 3 構成	8
3-1：フロントパネル	9
3-2：バックパネル及びサイドパネル	9
■ 4 設定	10
4-1：モニター表示及び録画	10
4-2：メインメニューの設定	10
4-3：録画スケジュールの設定	11
4-4：(パスワード/時間)の設定	12
4-5：HDD設定の設定	13
4-6：ALARM設定の設定	13
4-7：言語の設定	13
■ 5 様々な操作	14
5-1：サーチ再生	14
5-2：イベントリストから再生	14
5-3：シーケンシャル表示	14
5-4：パソコンとのリンク	15
■ 6 仕様及び録画時間	16
保証書	17

安全にお使いいただくためにお守りください

絵表示について

この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分けしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味(絵表示の一例です)



△記号は、気をつける必要があることをあらわしています。



⊘記号は、してはいけないこと(左の図の場合は分解禁止)を表しています。



●記号は、しなければならないことを表しています。



警告

■電源は15A以上、家庭用100Vのコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

■ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災感電の原因となります。

■本器の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■万一、金属片や水などが本器の内部に入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。そして、お買い上げの販売店までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常があるときは使用しないでください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。そして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■本器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■本器を分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

■ACアダプターは、必ず付属のものをご使用ください。

■使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。



警告

- キャビネットは絶対に開けない
感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は
販売店にご依頼ください。
- 本器を改造しないでください。
火災・感電・けがの原因となります。



注意

- ACアダプターをコンセントから抜くときは、
コードを引っ張らないでください。
コードを引っ張ると、コードが芯線の露出
または断線などで傷つき、火災・感電の原因
となることがあります。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、
不安定な場所に置かないでください。
製品の重さに十分耐える場所に設置して
ください。落ちたり倒れたりして、けが
などの原因となることがあります。



- 本器を移動させる場合は、ACアダプターを
コンセントから抜き、本器から外して行っ
てください。
(必ず録画停止の状態、POWERスイ
ッチをOFFにした後、ACアダプタ
をコンセントから抜いて下さい。



- 湿気やほこりの多い場所に置かないで
ください。火災・感電の原因となることが
あります。



- 重いものを置かない

- ・本器に乗らないでください。特に、小さい
お子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ・本器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。



- 本器の通風孔をふさがない

- ・内部に熱がこもり、火災の原因となること
があります。
- ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、
布団の上に置く。




- 3年に一度くらいは本器の内部の清掃を
販売店に依頼する

- ・内部にほこりがたまったら、長い間掃除を
しないと火災や故障の原因となることがあり
ます。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行
うと、より効果的です。なお、内部掃除費用
については、販売店にご相談ください。



1. 導入

1-1 必ずお読みください！

- 1) 本製品の操作は、必ず3秒以上おいてから次の操作を行ってください。
これはパソコンで  マークが表示されているのと同じ状態です。
連続してモードを切換えるとフリーズする可能性又は故障の原因となります。
- 2) パスワードは、出荷時“111111”に設定されています。
〔カメラ1ボタン〕を6回押してください
- 3) 本製品は新しいハードディスクを入れると自動でフォーマットします。
必ず他のPCなどで使用していないハードディスクを使用してください。
- 4) ライブ画面に日付・時間が表示されますが、累積で時間が狂う場合がありますので、定期的な時計合わせをメニュー項目(パスワード/時間)の設定より行ってください。

1-2 設置場所の確認(設置に関する注意事項)

本製品のハードディスクは内蔵型です。設置場所や設置環境など、下記項目を良くお読みになり正しくお使いください。正しくお使いにならないと動作しなかったり、故障の原因になりますので十分ご注意ください。

■使用環境

温度：0℃～40℃ / 湿度：90%以下

■結露

急激な温度変化が生じる場所、湿度の高い場所には設置しないで下さい。

結露が発生すると、故障の原因になります。

温度差のある場所へ移動させる場合は、周囲の温度に本体が適応するまで電源を入れないで下さい。

■設置

- ・磁気、静電気の発生する場所には設置をしないで下さい。特にハードディスクレコーダー(他社製品を含む)を積み重ねて設置すると、相互の磁気の影響で、機器が誤動作する恐れがありますので、できるだけ(1m以上)機器を離して設置して下さい。
- ・有線放送チューナー、マイク・アンプなどの放送機器からも1m以上離して設置して下さい。
- ・インバーター内蔵あるいは、大容量のモーターを搭載した機器(電動シャッター、エレベーター等)と同じ回路の電源を使用した場合、機器からの電源ノイズが原因で本製品が誤動作する場合があります。その場合は、異なる電源回路(異なるブレーカー)から電源を取るようにして下さい。
- ・本製品に振動、衝撃を与えないで下さい。またそのような環境でお使いにならないで下さい。
- ・水平な位置に設置して下さい。縦置きも厳禁です。
- ・本製品の両側面、背面には通気穴や冷却ファンがありますので、周囲5cm以内に物を置かないで下さい。

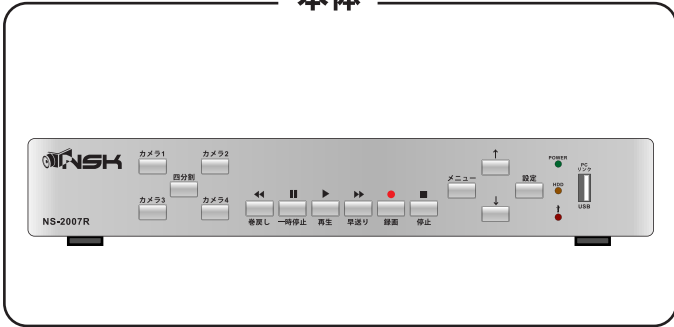
1-3 特徴

- 四分画モードとマルチプレクサーモードが、簡単に切換可能です。
用途に合わせた長時間録画や高画質録画ができます。
- モーションディテクタが内蔵していますので、画面変化時のみの録画可能です。
- モニター時120フレーム/秒と各カメラとも30フレーム/秒でモニターが可能です。
- 録画時は最大30フレーム/秒が可能です。
- オート録画機能で、停電復帰後、自動的に録画を開始します。
- 4CHのアラーム入力と1つのアラーム出力端子でアラーム反応時のみの自動録画可能。
- スケジュール録画で、指定した時間のみ録画可能です。
- Motion JPEG準拠の圧縮方式を採用していますので、高画質です。
- 1CHハードディスクレコーダーとしても使用可能なEACHモードを採用。
- シーケンシャル機能やサーチ機能を搭載。
- 設置場所をとらない、コンパクト設計です。

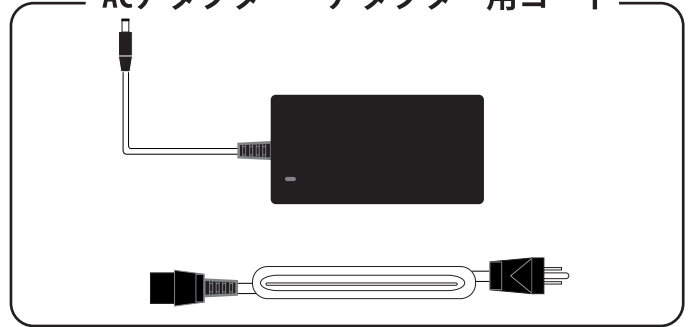
1-4 箱の中身を確認しましょう

■箱を開けましたら、次の付属品がそろっているか確認してください。

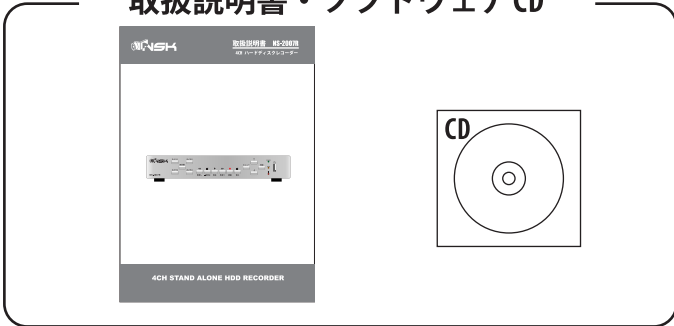
本体



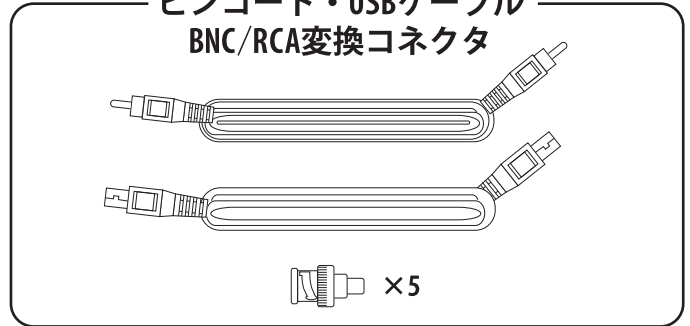
ACアダプター・アダプター用コード



取扱説明書・ソフトウェアCD



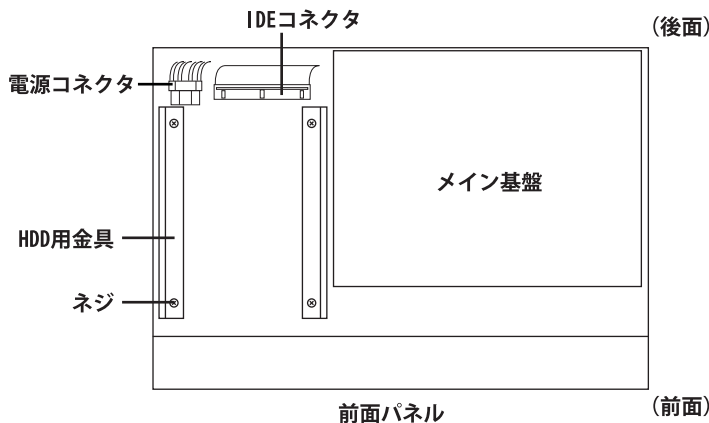
ピンコード・USBケーブル BNC/RCA変換コネクタ



1-5 ハードディスクの挿入

■出荷時はハードディスクは挿入してありますが、ハードディスク交換する場合またはハードディスクが未挿入の場合は、下記を参照して接続・挿入してください。

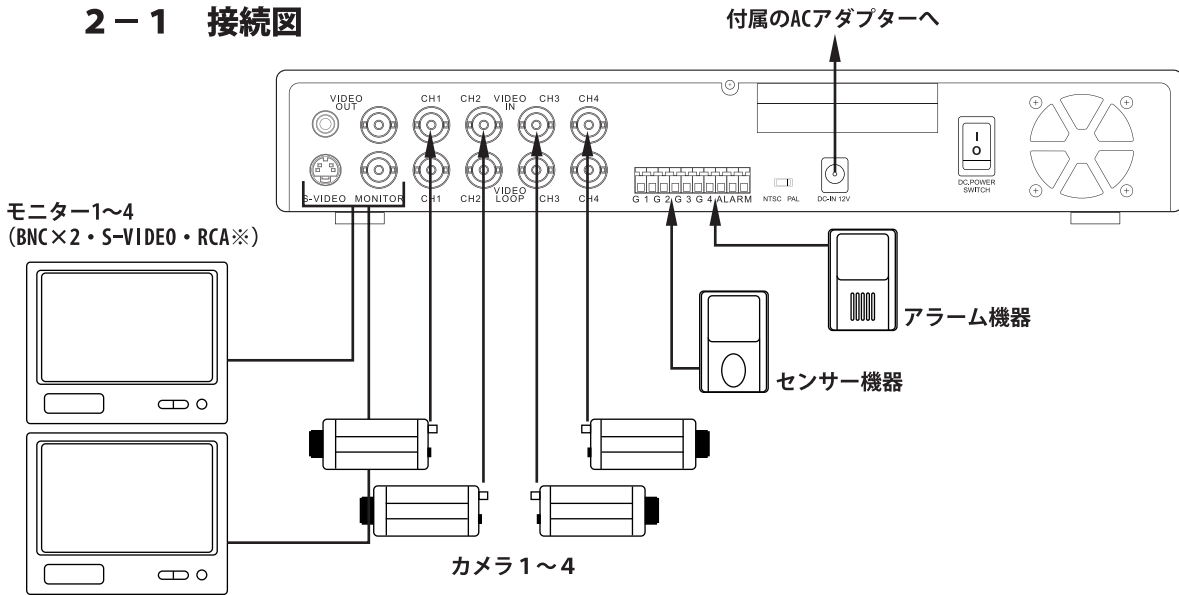
- ① 本体背面のネジ3箇所を外し、天井カバーを後ろ側へ引き出すように、開けます。
- ② ハードディスク用金具を、本体のネジ穴に合わせ4箇所接続します。



- ③ ハードディスクのディップスイッチを【MASTER】側にし、マスターに設定します。
(ハードディスク表面シールに、ディップスイッチのマスター位置設定が図で記してあります)
- ④ ハードディスク用金具にハードディスクを合わせるように挿入し、側面のネジ穴を合わせ
ハードディスク取付ネジで4箇所接続します。
- ⑤ IDEケーブル、電源ケーブルをそれぞれハードディスクに接続します。
- ⑥ 本体天井カバーを、前へスライドさせツメを合わせるように押し込み取り付けます。
- ⑦ 本体裏面のネジ3箇所を接続します。

2. 接続

2-1 接続図



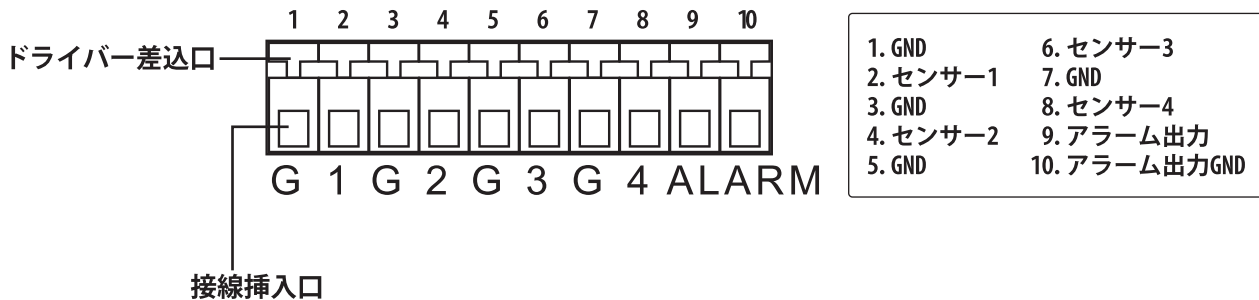
※RCA出力は、カメラの映像入力のレベルが低い場合、出力が不安定となる場合がありますので、モニターへの接続はBNC出力より行ってください。

2-2 接続方法

- ① VIDEO INのCH1～CH4にカメラの映像ケーブルを接続します。(BNCコネクター)
- ② VIDEO OUTから、テレビモニターの映像入力へ接続します。最大3台接続可能です。(BNCコネクタ×2、S-VIDEOコネクタ×1)
- ③ 全ての接続が完了しましたら、付属のACアダプターを差しアダプターから家庭用コンセント AC100Vへ差し込みます。

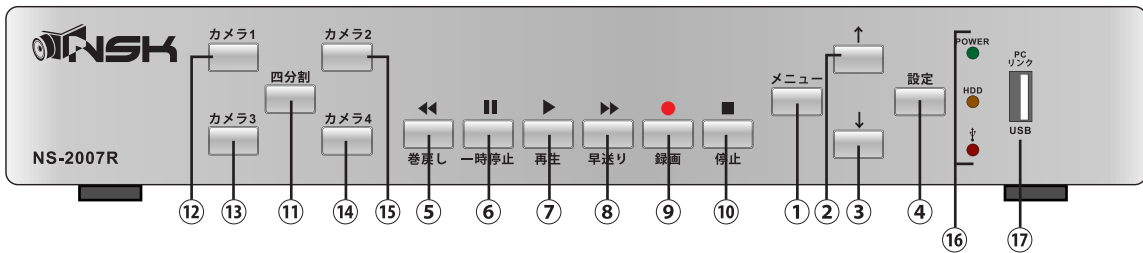
2-3 アラームの接続方法

■使用可能なセンサーは、販売店にご相談ください。



3. 構成

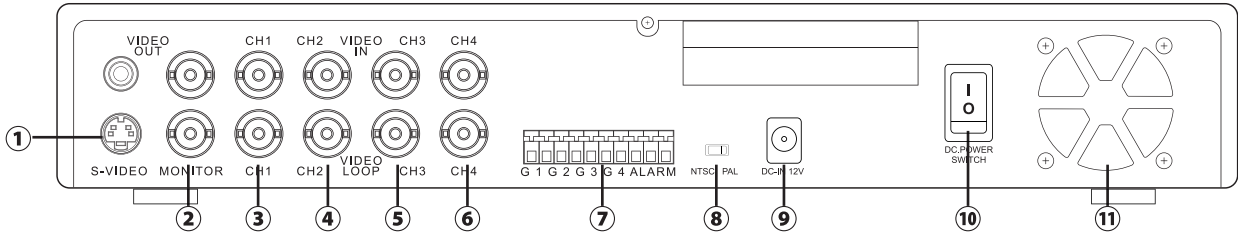
3-1 フロントパネル



- ① メニューボタン…メニュー設定する時に使用します。メニュー設定時には、終了のボタンとして使用します。録画モード時又は再生モード時はメニュー表示できません。
- ② ↑ボタン……………メニュー設定時、カーソルの移動に使用します。上又は左に移動します。
- ③ ↓ボタン……………メニュー設定時、カーソルの移動に使用します。下又は右に移動します。
- ④ 設定ボタン……………メニュー設定時、設定ボタン又は項目の選択ボタンとして使用します。
- ⑤ 巻戻しボタン……………再生時に巻戻しする時に使用します。
- ⑥ 一時停止ボタン…再生中、一時停止するときを使用します。PLAYボタンを押すと再生します。
- ⑦ 再生ボタン……………再生する時に使用します。一度押すと、録画したファイルが新しい順に表示されますので、↑↓ボタンで選択して、もう一度PLAYボタンを押すと再生できます。又、逆再生時や早送り再生時に押すと、ノーマル再生に切り替えます。
- ⑧ 早送りボタン……………再生時に早送りする時に使用します。FFボタンを押す毎に、3段階で（FF1, FF2, FF3とモニター左下に表示）スピードが切換可能です。
- ⑨ 録画ボタン……………録画する時に押します。どのモードでも、録画する時は必ず押してください。アラーム録画、モーション録画、スケジュール録画の時もRECボタンを押して⑯のHDD LEDが点灯していないと録画しません。録画している時は、モニター時のCH1～CH4の横に●マークが表示されます。
- ⑩ 停止ボタン……………録画や再生を停止する時に使用します。
- ⑪ 四分割ボタン……………アップ画面から四分割に戻す時使用します。
- ⑫～⑮ 1～4ボタン…4分割モード時、各カメラをアップに切換します。（モニター時又は再生時）メニュー設定時はパスワードなどにも使用します。
- ⑯ POWERLED……………電源ランプです。ONの時、緑のLEDが点灯します。
HDD LED……………ハードディスクランプです。ハードディスクにアクセス、録画している状態で赤色点滅します。
↓ LED……………USBランプです。USBでアクセスしている状態で赤色点滅します。
- ⑰ USBコネクタ……………本器とパソコンを接続する場合に、付属のUSBケーブルを使い接続します。

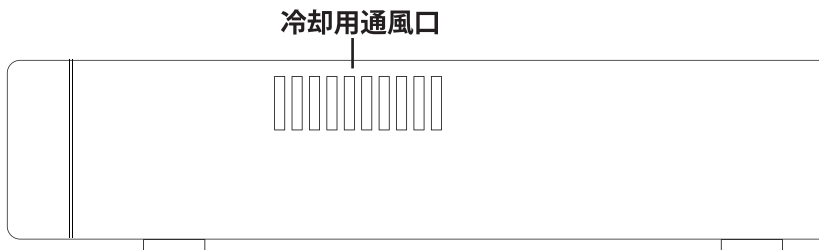
※早送り又は巻戻し時にブロックノイズが出ることがありますが、これは故障ではありません。また早送り又は巻戻し時の映像は、コマ飛び映像になりますのでご注意ください。

3-2 バックパネル及びサイドパネル



- ① VIDEO OUT(S-VIDEO) モニターへのS-VIDEO映像ケーブルを接続します。
- ② VIDEO OUT(BNC×2) 上下ともにモニターへのBNC映像ケーブルを接続します。
- ③ CH1 (ビデオ入力1) 上：カメラ1からの映像ケーブルを接続します。下：ループスルー出力です。
- ④ CH2 (ビデオ入力2) 上：カメラ2からの映像ケーブルを接続します。下：ループスルー出力です。
- ⑤ CH3 (ビデオ入力3) 上：カメラ3からの映像ケーブルを接続します。下：ループスルー出力です。
- ⑥ CH4 (ビデオ入力4) 上：カメラ4からの映像ケーブルを接続します。下：ループスルー出力です。
- ⑦ センサー入力 マイナスドライバーで差込口を押しながら、リード線を差し込んでください。
アラーム出力 マイナスドライバーで差込口を押しながら、リード線を差し込んでください。
- ⑧ 映像信号切換えスイッチ 日本では[NTSC]側にしてください。
- ⑨ 電源入力端子 付属のACアダプターを接続します。
- ⑩ POWERスイッチ 本体電源のON/OFF※ スイッチです。(※POWERスイッチをOFFにする場合は、必ず録画停止の状態で行ってください)
- ⑪ 冷却用通風口 内部ハードディスク冷却ファンの通風口です。

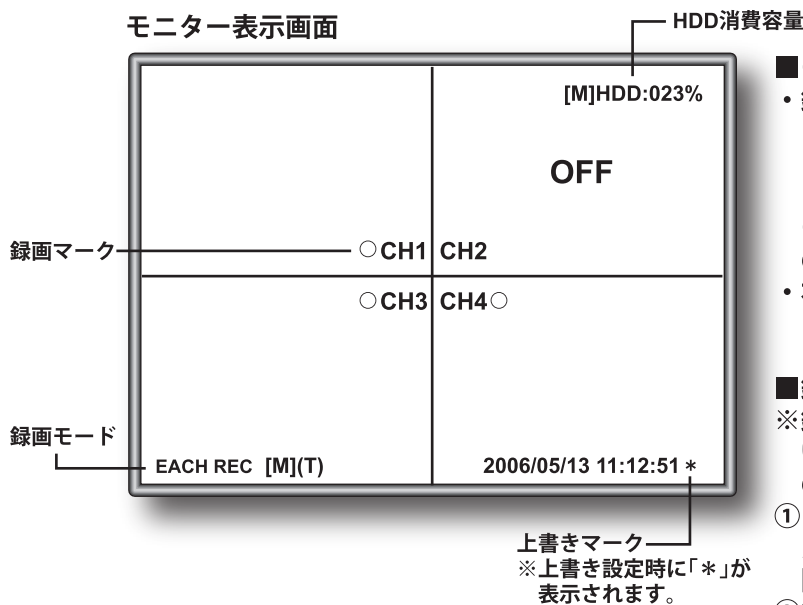
本体側面



4. 設定

4-1 モニター表示及び録画

モニター表示画面



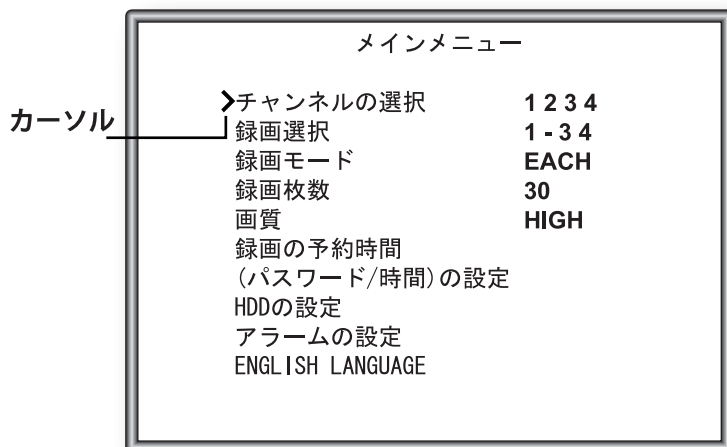
■モニター表示

- 録画モード時は、左下に録画モード(EACH/QUAD)と[M]又は[S]と(T)(S)(F)(-)何れかのモード表示が表示されます。
[M]はマスターHDD、[S]はスレーブHDDで、(T)はスケジュール録画、(S)はセンサー録画及びモーション録画、(F)はタイムラプス録画、(-)は録画待機の意味です。
- 右上にはHDDの消費容量が%で表示されます。
[M]マスターHDD・[S]スレーブHDDです。

■録画

- ※録画はメニュー設定のスケジュール録画で全て管理しています。[録画ボタン]を押す事により、スケジュール録画の通りに録画開始されます。(スケジュール録画P11参照)
- ①[録画ボタン]を押すと、メニュー設定で設定した録画有効カメラCH(下記参照)の横に○マークが表示され、録画を開始します。
- ②録画を停止したい場合は、[停止ボタン]を押すと、「パスワード：-----」と表示されますので、パスワードを[カメラ1~4ボタン]で入力します。入力後録画停止します。(初期パスワードは[カメラ1ボタン]を6回押してください。111111がパスワードです)

4-2 メインメニューの設定



- [メニューボタン] を押すと画面にメインメニューが表示されます。(録画中はMENUボタンを押しても表示されません)
- [↑/↓ボタン] でカーソルが移動します。
- [設定ボタン] で、各項目の設定をします。
- [メニューボタン] で、前メニューに戻ったり設定を終了したりします。

注意) [録画ボタン] を押した状態では、メニューが表示されません。必ず [停止ボタン] を押してから、[メニューボタン] を押してください。

■各設定項目

1) チャンネルの選択

この項目は、使用するカメラCHを設定します。4台使用する場合は1, 2, 3, 4の表示のまま使用してください。3台以下で使用する場合、[設定ボタン] を押すと「-----」が表示されますので使用するカメラCH[カメラ1, カメラ2, カメラ3, カメラ4ボタン]または[設定ボタン] (順次表示) を押してください。

2) 録画選択

この項目は、録画するカメラを選択します。4台使用して、4台とも録画したい場合は1 2 3 4を選択してください。

例) 1台のみ使用して、CH1のみ録画する場合は「1 - - -」を選択してください。

4台使用して、CH3のみ録画しない場合は「1 2 - 4」を選択してください。

※ [設定ボタン] を押すと「-----」が表示されますので、使用するカメラCH[カメラ1, カメラ2, カメラ3, カメラ4ボタン]または[設定ボタン] (順次表示) を押してください。

3) 録画モードの設定

この項目は、4分割 (QUAD) 又はマルチプレクサーモード (EACH) のどちらかを [設定ボタン] で選択します。

・4分割モード-QUAD

「4分割モード」は4分割の映像を1枚の画像として録画します。
(モニター時も各カメラのアップはできません)

・マルチプレクサーモード-EACH

「マルチプレクサーモード」は多重録画で各カメラを順番に録画します。
(モニター時又は録画時に各カメラ毎にアップにできます)

※メリット (長所)

4分割モード (QUAD) は、録画フレームが最大30フレーム/秒と録画でき、長時間録画の際もフレーム数を多く録画できます。

マルチプレクサーモード (EACH) は、多重録画のため1カメラ毎の映像が、より高画質で録画できます。
ご使用状況により、選択してください。

4) 録画枚数の設定

この項目は、1秒間に何コマにするかを設定します。 [設定ボタン] を押し、1秒間の録画コマ数を「30, 15, 10, 7, 5, 4, 3, 2, 1」の中から選択してください。

注意) マルチプレクサーモードは多重録画のため30コマを選択すると、カメラ4台を接続した時、各カメラ毎は7.5フレーム/秒となります。4を選択すると、各カメラは1秒に1フレームずつ録画となります。

マルチプレクサーモード (EACH)	
カメラ使用台数	フレーム
カメラ4台使用	最大7.5フレーム/秒
カメラ3台使用	最大10フレーム/秒
カメラ2台使用	最大15フレーム/秒
カメラ1台使用	最大30フレーム/秒

5) 画質の設定

この項目では、画質のクオリティ設定をします。 [設定ボタン] で「HIGH」「NORMAL」「LOW」の3段階から選択します。HIGHの時は、640×224で1フレームあたり20KBの容量です。

NORMALの時は、1フレームあたり15KB、LOWの時は、1フレームあたり12KBとなります。

4-3 録画の予約時間設定

■この項目はスケジュール録画の設定を行います。「録画の予約時間」で [設定ボタン] を押し、サブメニューが表示されます。毎日の時間毎に録画モードを設定できます。

[設定ボタン] で、「T」「S」「F」「-」を選択します。

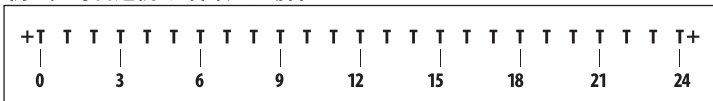
T: タイマー録画です。この時間は必ず録画します。

S: センサー録画です。この時間はセンサー反応時又はモーション反応時のみ自動録画します。

F: タイムラプス録画です。通常はソフトウェア制御で最小フレームで録画しますが、センサー反応又はモーション反応時は、最高フレームで録画をします。

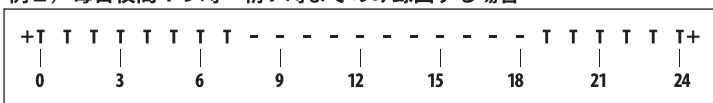
-: 録画しません。録画しない時間を選択する時は-にしてください。

例1) 毎日連続で録画する場合



全て「T」を選択してください。

例2) 毎日夜間19時～朝7時までのみ録画する場合



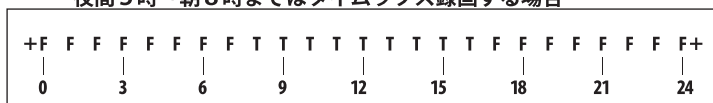
19～24と0～7まで「T」を選択して、その他は「-」を選択してください。

例3) 毎日センサー/モーションが反応した時のみ自動録画する場合



全て「S」を選択してください。

例4) 朝8時～夕方5時まで連続録画して、夜間5時～朝8時まではタイムラプス録画する場合

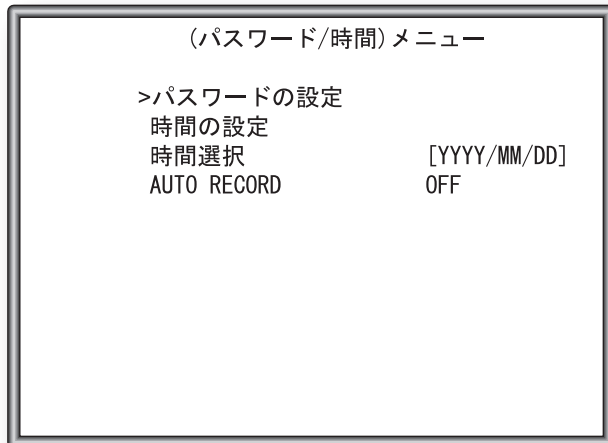


0～7と17～24は「F」を選択し、8～16は「T」を選択してください。

※タイマー録画、センサー録画、モーション録画は、設定後必ず [録画ボタン] を押し録画待機状態にして使用します。元の画面に戻るには、 [メニューボタン] を押します。

4-4 (パスワード/時間)の設定

■「(パスワード/時間)の設定」にカーソルを合わせ [設定ボタン] を押すと、サブメニュー画面が表示されます。



■各設定項目

1) パスワードの設定

この項目は、パスワードを変更する場合に設定してください。

- ①カーソルを合わせ [設定ボタン] を押してください。
- ②「現在パスワード」は、現在のパスワードを入力します。(出荷時は未設定-----で、入力はいりません)
- ③ [カメラ1~カメラ4ボタン] を押して入力します。
- ④「新パスワード」は新しいパスワードです。
- ⑤ [カメラ1~カメラ4ボタン] を押して入力します。
- ⑥「パスワード再入力」は新しいパスワードの確認です。「新パスワード」と同じパスワードを入力します。パスワードが正しく変更されると“Password Changing”の文字が5回点滅します。

2) 時間の設定 ※1ヶ月に3~5分程時間が狂う場合がありますので、定期的に時間を設定してください。

この項目は、日付時間を設定します。

- ①カーソルを合わせ [設定ボタン] を押してください。
- ②「時間」メニューが表示されます。
- ③ [↑/↓ボタン] でカーソルを移動させ、[設定ボタン] を押す毎に0~9の数字が変わります。
注意) 10月を合わせる時は、1と0を選択してください。数字は必ず1桁毎に設定します。
- ④ [メニューボタン] で「パスワード/時間メニュー」画面に戻ります。
設定を終了する時はもう一度 [メニューボタン] を押します。

3) 時間選択

この項目は、日付の並び順を選択します。

- ①カーソルを合わせ [設定ボタン] を押してください。
- ② [YYYY/MM/DD] [DD/MM/YYYY] のどちらかが選択できます。
年 [Y]、月 [M]、日 [D] を表します。

4) AUTO RECORD(オート録画)

この項目は、再生した後やPCリンク使用(パソコンにUSB接続で再生)後に、録画ボタンを押し忘れた場合、自動で録画を開始する設定です。

- ①カーソルを合わせ [設定ボタン] を押してください。
- ② [設定ボタン] を押す毎に「ON」「OFF」と変わります。
- ③「ON」の場合、録画ボタンを押してなくても、55秒後に自動で録画が開始されます。
- ④ [メニューボタン] で「メインメニュー」画面に戻ります。
設定を終了する時はもう一度 [メニューボタン] を押します。

4-5 HDD (ハードディスクドライブ) の設定

■「HDDの設定」にカーソルを合わせ、[設定ボタン] を押すと、HDD設定画面が表示されます。

HDD設定	
>録画の連続	YES
MASTER HDD SIZE	82011MB
MASTER HDD USED	9771MB 12%
MASTER HDD FORMAT	
SLAVE HDD SIZE	N/A
SLAVE HDD USED	N/A
SLAVE HDD FORMAT	

※ハードディスクが認識されていない場合「N/A」表示になります。

■各設定項目

1) 録画の連続

この項目は、ハードディスクの上書き（リピータ録画）をする場合に設定してください。

「YES」を選択すると、自動で上書き（リピータ録画）します。「NO」を選択すると、ハードディスク終了後録画はしません。[設定ボタン] で「YES」「NO」を選択します。

2) MASTER HDD SIZE(マスターHDDの容量)/ SLAVE HDD SIZE(スレーブHDDの容量)

この項目は、マスター及びスレーブハードディスクの全容量をMB(メガバイト)で表示しています。

3) MASTER HDD USED(マスターHDD使用量)/ SLAVE HDD USED(スレーブHDD使用量)

この項目は、現在使用しているマスター及びスレーブハードディスクの容量をMBと%で表示しています。

4) MASTER HDD FORMAT(マスターHDDの初期化)/ SLAVE HDD FORMAT(スレーブHDDの初期化)

この項目は、マスター及びスレーブハードディスクの録画を全て消去し、フォーマットします。

[設定ボタン] を押すと、パスワードが要求されます。パスワードを [カメラ1~カメラ4ボタン] を使用して入力してください。(出荷時は未設定です)

※パスワードを入力すると自動で消去され、HDD設定画面に戻ります。

設定を終了する時はもう一度 [メニューボタン] を押します。

4-6 ALARMの設定(アラーム設定)

■「ALARMの設定」にカーソルを合わせ [設定ボタン] を押すと、センサー/モーション設定画面が表示されます。

アラーム設定	
ALARM録画の時間	30
ALARM OUTの時間	00
[CH-1]	[-NOT INSTALLED-]
[CH-2]	TYPE: NORMAL-OPEN
[CH-3]	TYPE: NORMAL-CLOSE
[CH-4]	[-NOT INSTALLED-]
MOTION SETUP	4 3 2 1
[-SENSITIVITY]	7

■各設定項目

① ALARM録画の時間設定

この項目は、アラーム入力反応時、又はモーション反応時、何秒録画するか設定します。

[設定ボタン] で、05秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒の中から選択してください。

② ALARM OUTの時間設定

この項目は、アラーム出力の時間を設定します。

[設定ボタン] で、00秒、05秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、連続から選択します。

③ CH-1~CH-4のセンサー入力

この項目は、どのセンサータイプを使用するかまたはセンサーを使用しないかを選択します。

・センサー入力

[設定ボタン] で、「-NOT INSTALLED-」「NORMAL-OPEN」「NORMAL-CLOSE」を選択してください。

※NORMAL-OPEN : N. 0 / NORMAL-CLOSE : N. C

④ MOTION SETUPの設定

この項目は、モーション検知のカメラチャンネルを選択します。[設定ボタン] または [カメラ1~カメラ4ボタン] で、チャンネルを選択します。

⑤ SENSITIVITYの設定

「0」~「9」までを選択してください。

※レベル9になるほど低感度で、レベル1になるほど高感度です。0 : モーション反応しません。

4-7 言語の設定

■「ENGLISH LANGUAGE」にカーソルを合わせ [設定ボタン] を押すと、メニュー表示言語が英語になります。再度 [設定ボタン] を押すと日本語になります。

5. 様々な操作

5-1 サーチ再生

■ [再生ボタン] を押すと、サーチ画面が表示されます。

放送の時間			
>HARD DRIVE : MASTER			
04/10/01 10:36:25~04/10/02 23:00:01			
01	TIME	2004/10/22	23:15:12
02	SENSOR	2004/10/21	18:45:16
03	TIME	2004/10/03	02:22:13
04	TIME	2004/10/01	10:36:25

※再生映像の早送り/巻戻しは、特に高倍速の場合ブロックノイズが画面上に頻繁に現れる場合があります。
これは本機画像圧縮ソフトの特性上の現象であり不具合ではありません。
確認したい映像については、高速でラフに早送り/巻戻しを行った後、等倍速でご確認いただけます。

- ① [早送りボタン] を押すと、カーソルが「HARD DRIVE」に移動します。
- ② [↓ボタン] でカーソルが年に移動します。
- ③ [設定ボタン] で、再生したい年、月、日、分、秒を設定します。
- ④ 設定後、[再生ボタン] を押すと再生されます。

ハードディスクに保存されている時間が、03/06/05 13:52:34~03/06/05 13:55:36と表示されますので、この中の時間を設定してください。時間外は NOT DATE の文字が出て表示されません。又、指定した時間が録画されていない時は、近い時間の録画が再生されます。

5-2 イベントリストから再生

[再生ボタン] を押すと、01~から新しい順にイベントリスト(録画状況)が表示されます。TIMEはスケジュール録画(連続録画)、SENSORはアラーム録画又はモーション録画を意味します。
[↑/↓ボタン] でカーソルを合わせ、[再生ボタン] を押すと再生が始まります。
モニター上は、7項目までですが [↓ボタン] を押すと順次項目が変わります。

放送の時間			
HARD DRIVE : MASTER			
04/10/01 10:36:25~04/10/02 23:00:01			
>01	TIME	2004/10/22	23:15:12
02	SENSOR	2004/10/21	18:45:16
03	TIME	2004/10/03	02:22:13
04	TIME	2004/10/01	10:36:25

5-3 シーケンシャル表示(順表示切替)

■メイン画面で[カメラ1~カメラ4ボタン]を押すと各画面に切り替わり、[四分割ボタン]を押すと4分割表示になりますが、4分割表示時に再度[四分割ボタン]を押すと、シーケンシャル切替え表示になり、画面右下に「AUTO」表示されます。

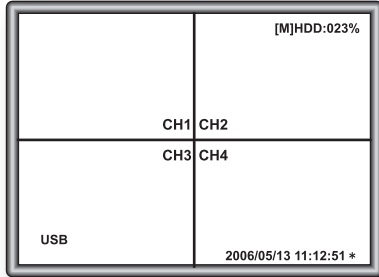
※シーケンシャル表示をやめたい場合は、再度[四分割ボタン]を押してください。
画面右下の「AUTO」表示が消えます。

5-4 パソコンとのリンク-PC LINK(動作推奨:Windows2000,XP以上/Windows Vistaは使用不可)

■付属ソフトウェアCD-ROM

- 本ソフトウェアはインストールする必要がありません。CD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入し、「V2.2_050606_ntsc.exe」アイコン(テレビマーク)をダブルクリックすると、専用ビューワーが起動します。※起動する前に下記のUSB接続が必要になります。※V2.2_050606_pal.exeは使用しないで下さい。

■パソコンと本器の接続



- 本器を録画及び再生、メニュー設定をしていない通常の監視状態(メイン画面)にしておきます。
- 付属のUSBケーブルを使い、パソコンのUSB端子と本器のUSB端子を接続します。
- 「DETECT BY WINDOWS」メッセージが表示された後、画面左下に「USB」と表示され、USB LEDが点灯します。
- 本器はそのままにし、次項「ビューワーソフトウェア画面及び操作」でパソコンの操作に移り、ビューワーソフトウェアを起動します。
※正常に接続されていないと、「NOT FOUND ANY DVR HDD IN SYSTEM」メッセージが表示され、ソフトウェアが起動しません。
- パソコンでの操作が終了しましたら、本器からUSBケーブルを抜いて終了してください。

■ビューワーソフトウェア画面及び操作

- 本器とパソコンのUSB接続が完了できましたら、パソコンのビューワーソフトアイコンをダブルクリックしソフトウェアを起動します。※映像表示は4分割になりません。

1) 本器録画ファイルの再生

- [イベントリスト検索ボタン]をクリックすると、本器のイベントリスト画面と同じ画面が表示されます。イベント項目をクリックし、[再生ボタン]をクリックすると再生が始まります。
- [一時停止ボタン]で一時停止を行い、[コマ送り・コマ戻しボタン]操作が可能になります。
- 再生中は[早送り(1倍~4倍)・巻戻しボタン]の操作が可能になります。スピード調整バーで操作も可能です。
- [カメラ選択ボタン]で見たい映像のチャンネルを選択します。

2) 本器録画ファイルをパソコンへ取り込む

- 再生中に[静止画保存ボタン]をクリックすると、保存先画面が表示されます。保存先と保存ファイル名を指定し、OKボタンをクリックすると「保存ファイル名.BMP」の静止画ファイルが作成されます。
- 同様に[動画保存ボタン]をクリックすると、同じく保存先画面が表示されます。保存先と保存ファイル名を指定し、OKボタンをクリックすると「保存ファイル名.AVI」の動画ファイル取り込み開始になります。
※動画を保存する場合、必ず再生中に[動画保存ボタン]をクリックし、終了する場合は[一時停止ボタン]または[終了ボタン]でソフトウェアの終了を行ってください。再生が終了するまでパソコンに動画ファイルを取り込みます。



■ビューワーソフトメイン画面

- ※ソフトウェアの映像表示では4分割画面にはなりませんので、[カメラ選択ボタン]で1画面選択して表示してください。

- ※各操作の詳細はステータス表示に、今現在の操作が表示されます。

- ※パソコンに保存する場合は、映像のみがファイル保存されます。(日付時間は記録されません)

6.仕様及び録画時間

■仕様書

総合仕様	4CH ハードディスクレコーダー NS-2007R
映像信号	NTSC / PAL スイッチ切換え
映像入力	4CH 1.0vp-p/75Ω (BNC)
映像出力	BNC×2 / RCA×1 / S-Video×1 / ループスルー出力×4
モニターフレーム	120フレーム/秒 (各カメラ30フレーム/秒)
録画フレーム	30フレーム/秒
録画モード	4分割モード (QUAD) / マルチプレクサーモード (EACH)
モニター解像度	720×480
録画解像度	640×224 (QUAD) / 320×112 (EACH)
画像圧縮	Advanced Motion JPEG
	HIGH 1フレーム=20KB
	NORMAL 1フレーム=15KB
	LOW 1フレーム=12KB
HDD	250GB 本体内蔵型
モーション	各カメラ毎に設定可 / 感度1~9段階
アラーム入力	4CH N.0/N.C入力 (メニュー選択)
アラーム出力	1CH
サーチ	日付時間 / イベントリストによるサーチ
バックアップ	VCR、USB2.0
電源	DC12V
消費電力	最大3A
使用条件	温度0℃~40℃
外形寸法	幅285mm×高さ44mm×奥行き230mm
重量	2.6kg (HDD無)

- ※仕様は改良などのため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
 ※このビデオレコーダーは映像を記録するためのもので、盗難防止装置ではありません。
 万一発生した事故損害等については責任を負いかねますのでご了承ください。

■録画時間目安表

HDD		160GB			250GB		
VIDEO QUALITY		HIGH	NORMAL	LOW	HIGH	NORMAL	LOW
RECORD FRAME RATE	30	73.3時間	97.8時間	122.4時間	114時間	152.9時間	191.2時間
	15	146.8時間	195.8時間	244.8時間	229.2時間	306時間	382.5時間
	10	220.2時間	293.7時間	367.2時間	344.1時間	458.9時間	573.7時間
	7	314.8時間	419.7時間	524.6時間	491.8時間	655.8時間	819.7時間
	5	440.6時間	587.6時間	734.5時間	688.5時間	918.1時間	1147.7時間
	4	550.8時間	734.5時間	918.1時間	860.6時間	1147.7時間	1434.5時間
	3	734.5時間	979.3時間	1224.2時間	1147.7時間	1530.2時間	1912.9時間
	2	1101.7時間	1469時間	1836.4時間	1721.4時間	2295.4時間	2869.3時間
	1	2203.6時間	2938.2時間	3672.8時間	3443.1時間	4591時間	5738.7時間

- 各画面モード及び4分割モードの録画時間目安表です。
 ■HIGH：1フレーム20KB、NORMAL：1フレーム15KB、LOW：1フレーム12KB。
 ※上記表はあくまでも参考時間です。使用するカメラにより大きく録画時間が変動しますのでご了承ください。

* 保証書 *

型名	NS-2007R			
製造番号	お手数ですが製品の裏面の製造番号を記入願います。			
【お客様記入欄】 お名前		様 TEL ()		
ご住所 〒 -				
【取り扱い販売店名・住所・電話番号】			お願い 本保証書に販売店名、販売年月日が 無き時は無効となります。 記入不可能な場合には、お買い上げ 年月日を証明できる領収書などを 保管してください。	
保証期間 お買い上げ日		1年間		
年 月 日より				

* 保証規定 *

- 1) 取扱説明書の注意事項に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障箇所を当社所定の方法で修理させていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添付してご持参ください。
(宅急便などをご利用の際は往復の送料は、お客様のご負担となります。また、出張修理および代替修理は行いません。)
- 2) 本製品の故障により、モニター・録画できなかった場合の直接又は間接的な被害に対し当社又は販売店は一切の補償は致しません。ご了承ください。
- 3) 保証期間内でも次のような場合には、有料修理になります。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 本保証書に保証期間、販売店名の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合。
 - (3) ご購入後の移動時の落下または衝撃など、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障・破損の場合。
 - (4) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造による故障・損傷。
 - (5) 火災・ガス害・塩害・地震・落雷・および風水害・その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因による故障・損傷。
 - (6) 本製品に接続している周辺機器および消耗品に起因する故障・破損。
 - (7) 説明書に記載する使用方法、および注意に反するお取り扱いによって生じた故障・破損。
- 4) ご不明な点はお買い上げの販売店にご相談、お問い合わせください。
- 5) 本保証書は、日本国内のみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

☆この保証書は本書に明示した条件のもとで、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間後の修理については販売店にお問い合わせください。